

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路を拡幅します

地元
の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。（地元住民）
- ・踏切前後は幅員が狭く、自動車同士が安全にすれ違える道路が必要。（地元住民）
- ・通学路なので安全に歩ける歩道も整備してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：下仁田町下仁田
- 事業内容：現道拡幅 延長 0.4km 道路幅 10.25m
- 事業期間：平成30年度～
- 緊急輸送道路：該当（第一次緊急輸送道路）
- 重要物流道路：該当（代替・補完路）

- 現在の交通量：11,485台/日（自動車）
（R3年度） 7人/12時間（歩行者）
26台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 現況は道路幅員が狭いうえ見通しも悪いことから、自動車のすれ違いに注意が必要であり、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしています。



事業前の状況

事業後

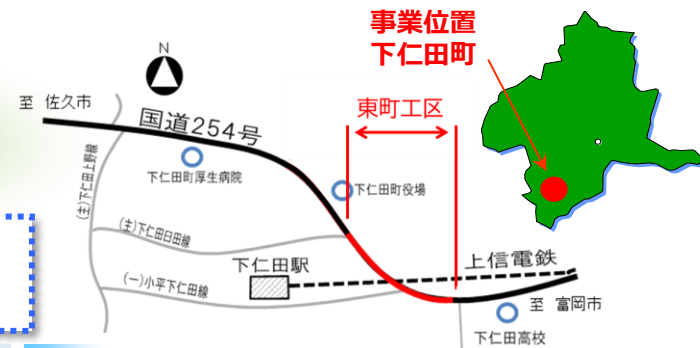
- ◆ 車道が広くなり、歩道を設置することで円滑な交通が可能となり、災害時にも機能する安全な通行空間を確保します。



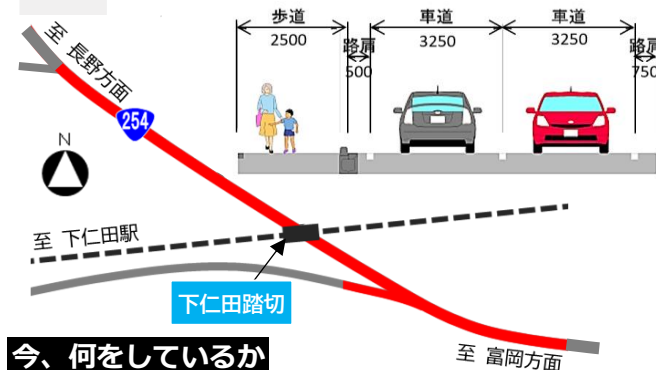
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	すれ違い困難 （幅員5.5m）

実施後（目標）
すれ違い容易に （幅員7.75m）



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は踏切前後の道路改良工事を実施します。

